

# 市民意識調査報告書

平成18年12月

印西市役所

## <目次>

### 【情報化計画】

1. 市民意識調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の概要	1
1.3 設問内容	1
1.4 回答者の属性について	2
2. 市民意識調査結果	3
2.1 問1の結果(現在利用している情報通信機器について)	3
2.2 問2の結果(インターネットの利用状況について)	4
2.3 問3の結果(現在利用している情報通信サービスについて)	8
2.4 問4の結果(市役所からの情報提供の満足度について)	10
2.5 問5の結果(市のホームページについて)	11
2.6 問6の結果(市に求める情報について)	12
2.7 問7の結果(重要だと思うインターネットサービスについて)	13
2.8 問8の結果(情報化が及ぼす影響について)	14
2.9 調査結果のまとめ	15
3.1 添付資料	16
参考資料-前回市民意識調査との比較-	18
市民意識調査回答者の属性	18
参考1)問1に関する前回との比較	18
参考2)問2に関する前回との比較	19
参考3)問3に関する前回との比較	20
参考4)問6に関する前回との比較	21
3. 市民意識調査結果【地図情報】	22
3.1 問1-1「利用したい分野の地図情報」の結果	22
3.2 問1-2「GISに必要な機能」の結果	24
3.3 問2「利用したい地図情報」の結果	26
3.4 問3「最後に(自由記入形式)」の結果	30
3.5 集計結果のまとめ	31

# 1. 市民意識調査の概要

## 1.1 調査の目的

印西市での地域情報化を推進するにあたって、地域の情報化の現状と住民のニーズを的確に把握するため、「市民意識調査」を実施しました。

## 1.2 調査の概要

- 調査対象 15歳以上の市民1,000人（無作為抽出）
- 調査期間 平成18年9月8日（金）～9月22日（金）
- 配布・回収 郵送
- 回答率 33.2%（332人回答）

## 1.3 設問内容

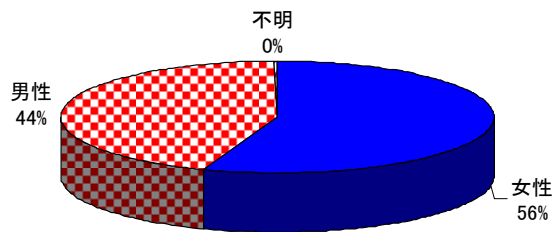
アンケート設問内容は以下の通りであり、回答方式については、番号を選択する形式としました（意見・要望は記述方式）。

問	設問項目	
1	情報通信機器の普及状況	
2	インターネット利用について	利用の有無
		将来の利用予定
		インターネット利用端末
		利用場所
		通信回線の種別
3	市からの情報の現在の入手手段/将来希望する入手手段	
4	市からの情報提供の満足度/不満な場合の理由	
5	市のホームページの閲覧の有無/ホームページの印象	
6	市に求める情報	
7	重要だと思うインターネットサービス	
8	情報化が及ぼす影響	
最後	意見・要望（自由記述方式）	

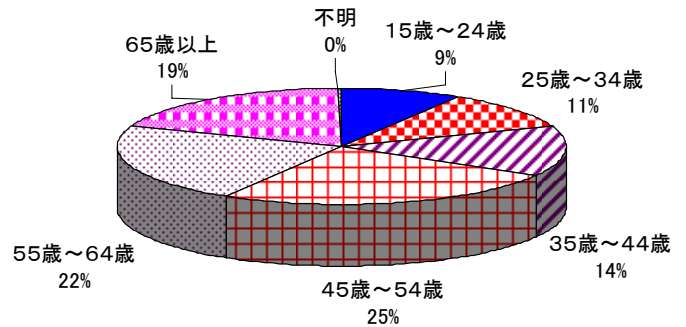
## 1.4 回答者の属性について

### 回答者の構成について

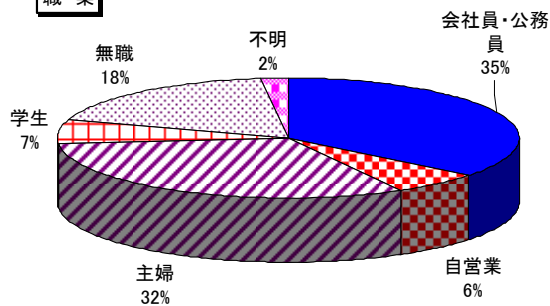
性別



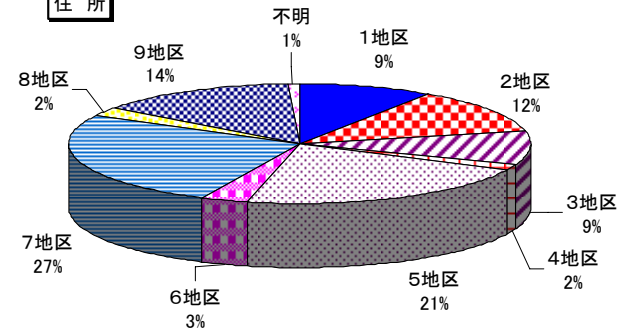
年代



職業



住所



性別	女性		男性		不明		回答者総数：332人													
	184	147	1																	
年代別	15～24歳	29	25～34歳	36	35～44歳	46	45～54歳	84	55～64歳	73	65歳以上	63	不明	1						
	会社員・公務員	119	自営業	20	主婦	105	学生	22	無職	60	不明	6								
住所別	1地区	31	2地区	41	3地区	30	4地区	5	5地区	71	6地区	11	7地区	56	8地区	8	9地区	46	不明	3

#### 【住所】

- 1地区 木下、木下南1～2丁目、竹袋、別所、宗甫、木下東1～4丁目、平岡
- 2地区 小林、小林北1～6丁目、小林浅間1～3丁目、小林大門下1～3丁目
- 3地区 大森、鹿黒、亀成、発作、相島、浅間前
- 4地区 浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
- 5地区 小倉台1～4丁目、大塚3丁目、牧の木戸1丁目、木刈1～6丁目
- 6地区 武西、戸神、船尾、松崎、結縁寺、多々羅田
- 7地区 内野1～3丁目、原山1～3丁目、高花1～6丁目、戸神台1丁目
- 8地区 草深、泉
- 9地区 西の原1～3丁目、原2～4丁目

回答者の性別は、女性が若干多い状況(女性 56%、男性 44%)となりました。

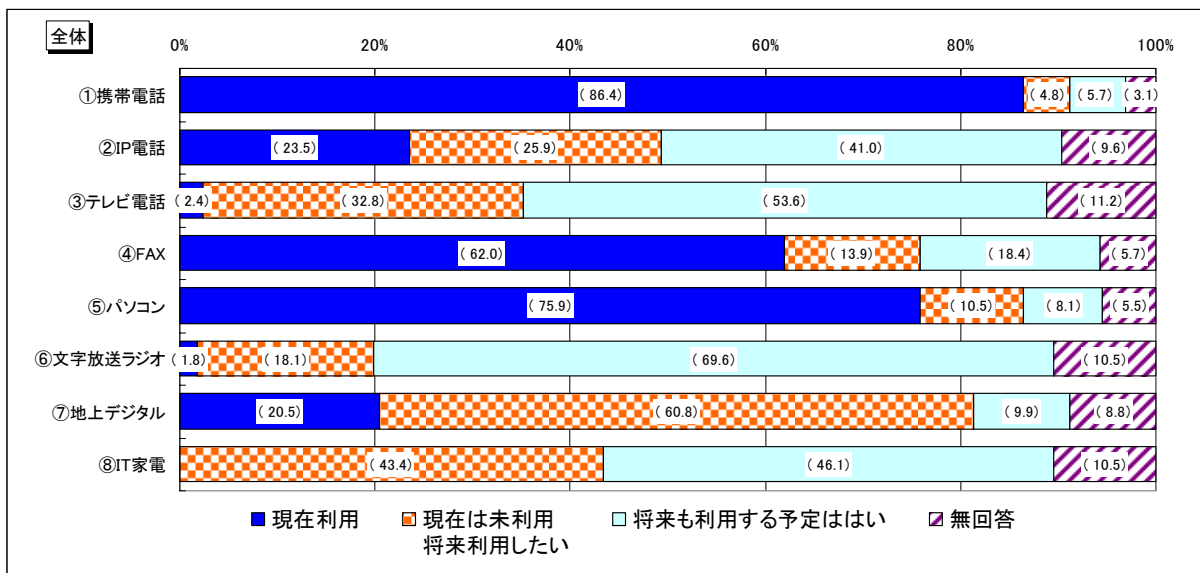
年代別では、主に回答者が多い順位として、45-54歳(25%)、55-64歳(22%)、65歳以上(19%)と続く結果となりました。

職業別では、「会社員・公務員」が最も多く 35%であり、次いで「主婦」(32%)、「無職」(18%)、「学生」(7%)、「自営業」(6%)という結果となりました。

## 2. 市民意識調査結果

### 2.1 問1の結果(現在利用している情報通信機器について)

<p>問1 あなた自身もしくはご家庭で利用している情報通信機器の普及状況に関して、それぞれの設問で、あてはまるものを選んで数字に○印をつけてください</p>	
<p>1 携帯電話または PHS                  2 IP 電話                  3 テレビ電話                  4 F A X                  5 パソコン                  6 文字放送ラジオ                  7 地上デジタル放送対応 T V                  8 I T 家電</p>	<p>[1] 現在利用している                  [2] 現在は利用していないが、将来利用したい                  [3] 将来も利用する予定はない</p>



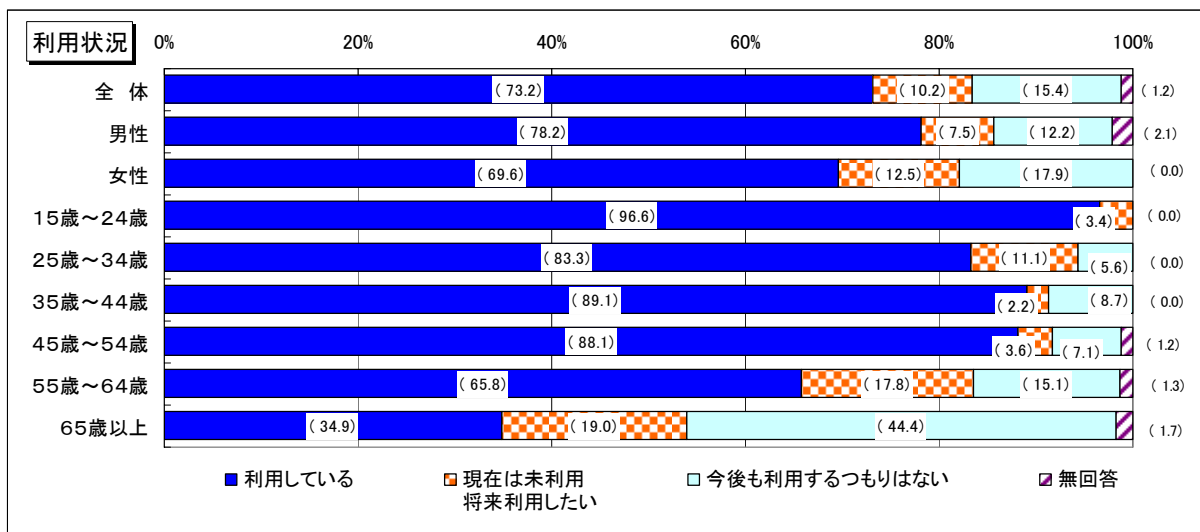
現在利用している情報通信機器は、「携帯電話又は P H S」(86.4%)、「パソコン」(75.9%)、「F A X」(62.0%)、となっており、既に一般化し多くの市民に普及していると言えます。

また、特徴的な結果としては、「地上デジタル放送対応 T V」が挙げられます。「現在利用している」は 20.5%と低い値にとどまっていますが、「現在は利用していないが、将来利用したい」と回答している人(60.8%)の意向を加えると今後の情報端末としての高い需要が存在しています。同様に、「I P 電話」「テレビ電話」「I T 家電」についても、現在の利用率は低いものの、今後の強い需要が存在しています。

このことから、今後への利用の期待を踏まえた情報提供のあり方について、技術動向を踏まえた検討が求められます。

## 2.2 問2の結果(インターネットの利用状況について)

問2-1 インターネットを利用していますか？ あてはまるものを1つ選んで数字に○印をつけてください。	
[1]はい ↓ 問2-3へ	[2]いいえ ↓ 問2-2へ
問2-2 今後利用する予定はありますか？ あてはまるものを1つ選んで数字に○印をつけてください。	
[1]将来は利用してみたい [2]今後も利用するつもりはない →問3へ	



現在インターネットを利用したことがある人は、73.2%であり、今後の利用意向(10.2%)を加えると、全体として、83.4%の利用が期待できます。

性別で見ると、男性全体では85.7%(利用している78.2%+現在は未利用だが将来は利用したい7.5%)、女性全体では82.1%(利用している69.6%+現在は未利用だが将来は利用したい12.5%)の市民について将来的な利用が期待できます。

年代別で見ると、若年層15~24歳がもっとも高い利用率であり、生活の中でのインターネットの利用が普及しているのに対し、高齢者層(55歳以上、特に65歳以上)となるに従い、利用率は低くなる傾向があります。

全体的には、インターネットの利用が進展しているものの、15.4%の方は、今後も利用する意向が無く、インターネットの利用が見込めない方への配慮が求められます。その傾向は、性別では男性よりも女性に多く見られ、また、65歳以上において、傾向が強く、情報弱者となることが考えられ、行政サービス等を考える上での考慮が求められます。

問 2 - 3 インターネットを利用の際は主に何を利用していますか？  
 あてはまるものを1つ選んで数字に○印をつけてください。

[1]主にパソコン

[3]パソコンと携帯・電話の両方

↓

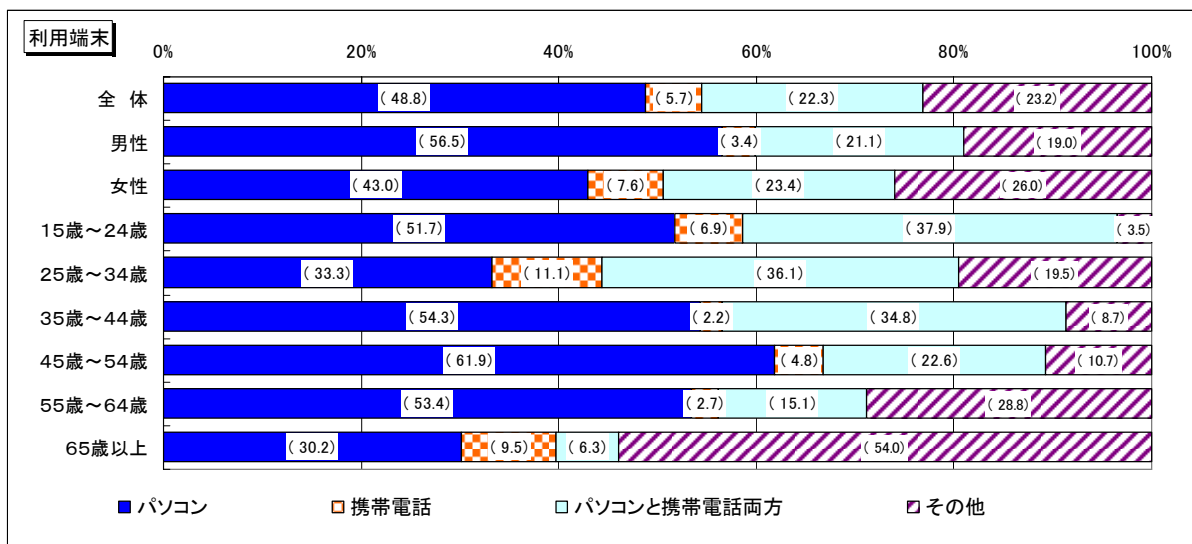
問 2 - 4 へ

[2]主に携帯電話

[4]その他

↓

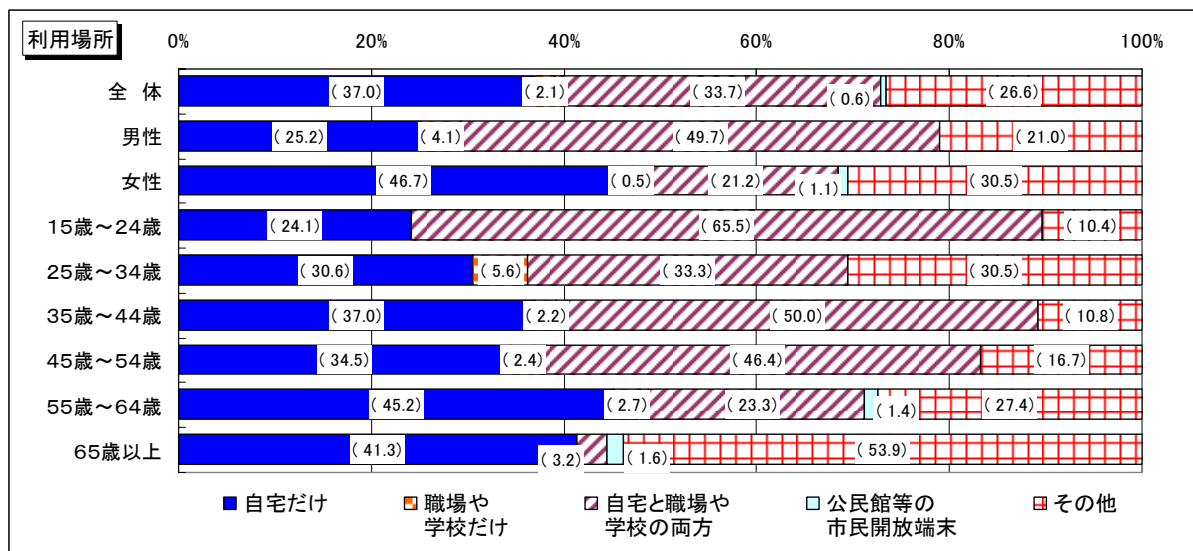
問 3 へ



インターネットの利用は、主にパソコンを中心とした利用（全体 48.8%）で、若年層ほど、携帯電話及びパソコンとの両方を利用する傾向が強くなります。また、65歳以上でも、パソコンの利用が多くなっていますが、一方で、「携帯電話」（9.5%）及び「パソコンと携帯電話両方」（6.3%）を使用する割合が多くなっており、簡易な操作性から情報化を担う端末として高齢者層においても、携帯電話の利用が進展しはじめています。

問 2 - 4 インターネットを利用の際は主にどこで利用していますか？  
 あてはまるものを1つ選んで数字に○印をつけてください。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| [1] 自宅だけ        | [2] 職場や学校だけ     |
| [3] 自宅と職場や学校の両方 | [4] 公民館等の市民開放端末 |
|                 | [5] その他         |
| ↓               | ↓               |
| 問 2 - 5 へ       | 問 3 へ           |

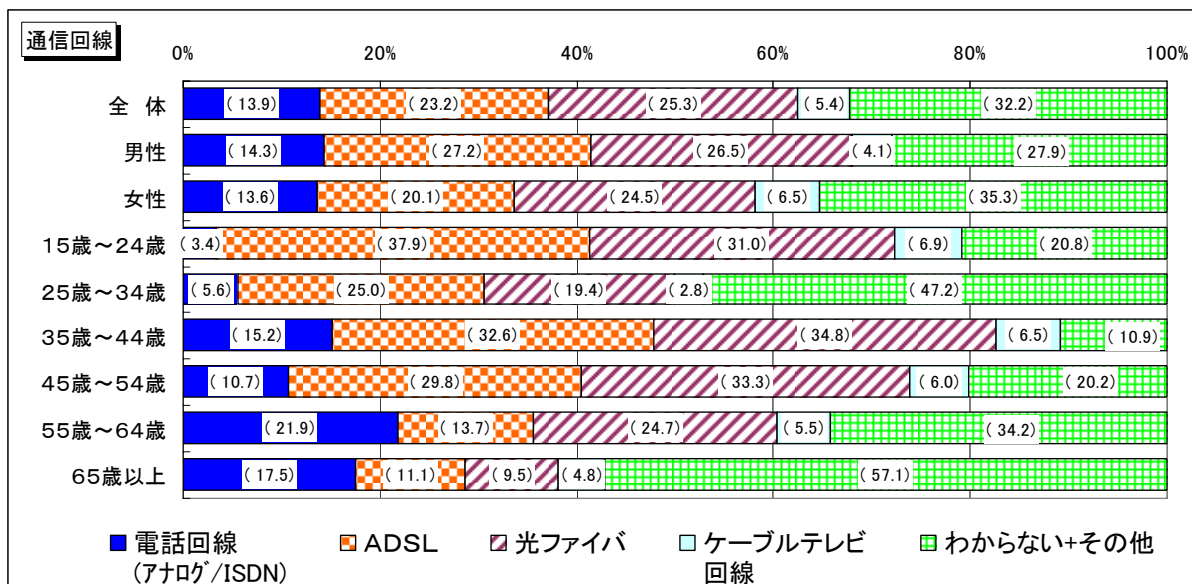


利用場所は、全体として、自宅および職場や学校の両面での利用が考えられますが、そのなかでも、特に、女性及び65歳以上の高齢者は、自宅のみでの利用の傾向があります。また、55歳以上の一部では、公民館等の市民開放端末での利用傾向が表れています。



問 2 - 5 自宅で利用している通信回線の種類は何ですか？あてはまるものを1つ選んで数字に○印をつけてください。

- [ 1 ] 電話回線
- [ 2 ] A D S L
- [ 3 ] 光ファイバ
- [ 4 ] ケーブルテレビ回線
- [ 5 ] わからない
- [ 6 ] その他

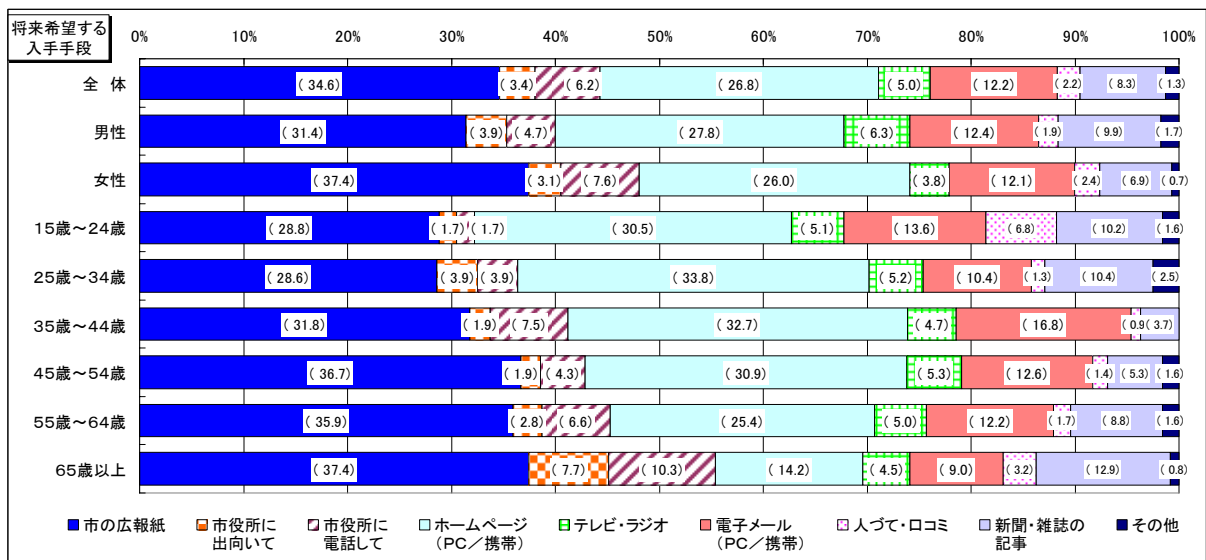
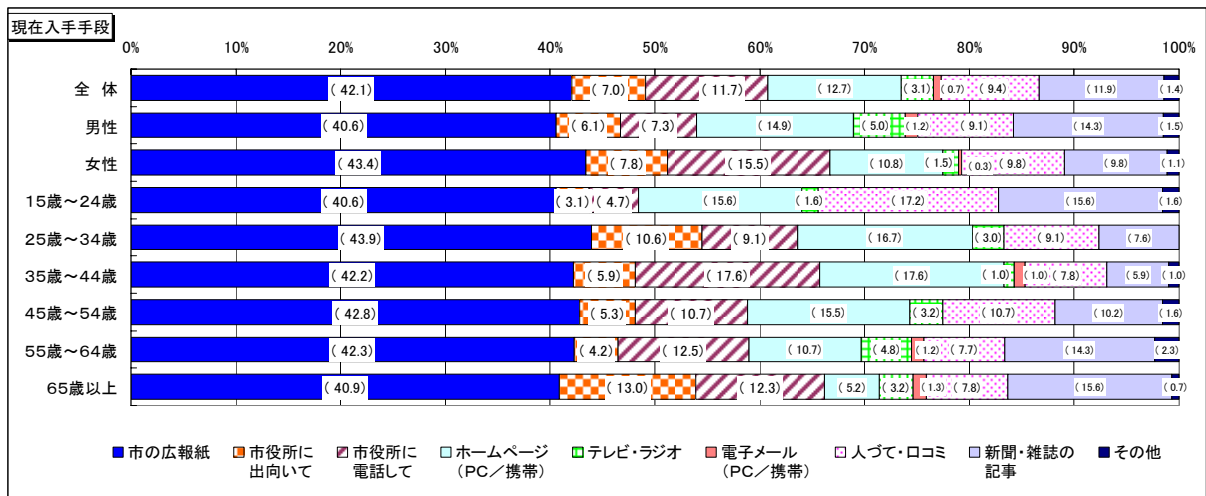


利用回線は上位より、光ファイバ 25.3%、A D S L 23.2%、C A T V 5.4%とブロードバンド回線によるインターネット接続が進展しています。一方、高齢者層では、比較的接続容量の少ないアナログ・I S D N等の一般回線を活用した接続の傾向があります。

## 2.3 問3の結果（現在利用している情報通信サービスについて）

問3 市役所からの情報を、現在はどういう手段で入手していますか。また、将来はどういう手段で入手したいですか。よく使っている（使いたい）ものを3つまで選んで〔 〕内の数字に○印をつけてください。

- |              |                       |   |
|--------------|-----------------------|---|
| [1]市の広報紙     | [2]市役所に出向いて           | 現在の入手手段として3つ、<br>将来希望する入手手段として3つを<br>選択する |
| [3]市役所に電話をして | [4]ホームページ（パソコンや携帯電話等） |   |
| [5]テレビ・ラジオ   | [6]電子メール（パソコンや携帯電話等）  |   |
| [7]人づて・口コミ   | [8]新聞・雑誌の記事           |   |
| [9]その他       |                       |   |



現在、市からの情報の入手手段は、主に広報紙（42.1%）を中心としており、次にホームページ（12.7%）、市に電話（11.7%）して、あるいは新聞・雑誌の記事（11.9%）により、市民は情報を収集しています。その傾向は、年代や性別による差異は少なく、同様の傾向となっています。

一方、今後希望する情報の入手手段は、現在の利用からの進展状況から、ホームページ（12.7%→26.8%）及び電子メール（0.7%→12.2%）による情報の入手を

希望する声が多くあります。その傾向は、若年層において特に強く表れています。

また、65歳以上の高齢者層では、市役所に出向くあるいは電話による問い合わせも継続しており、従来からの窓口業務によるサポートに加え、情報化による進展など多様化した対応が求められてきます。

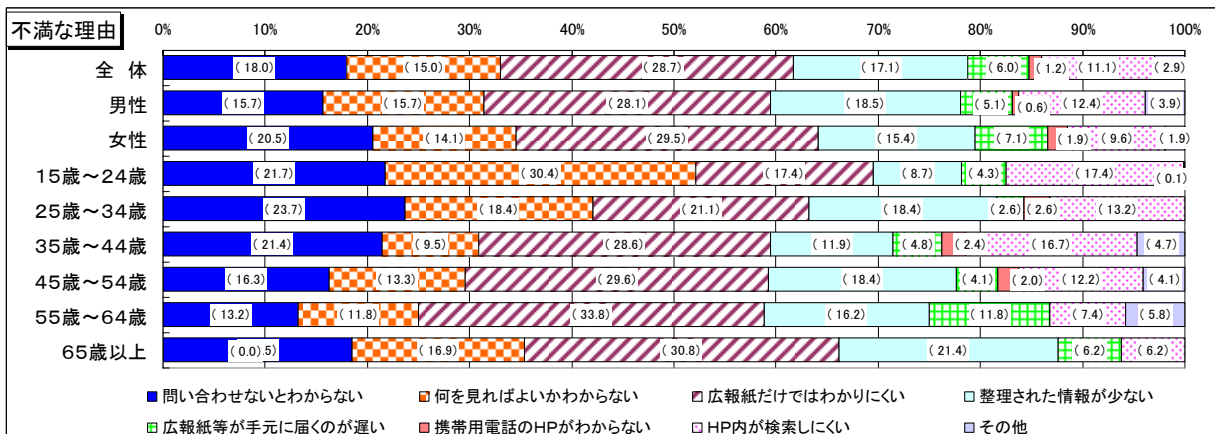
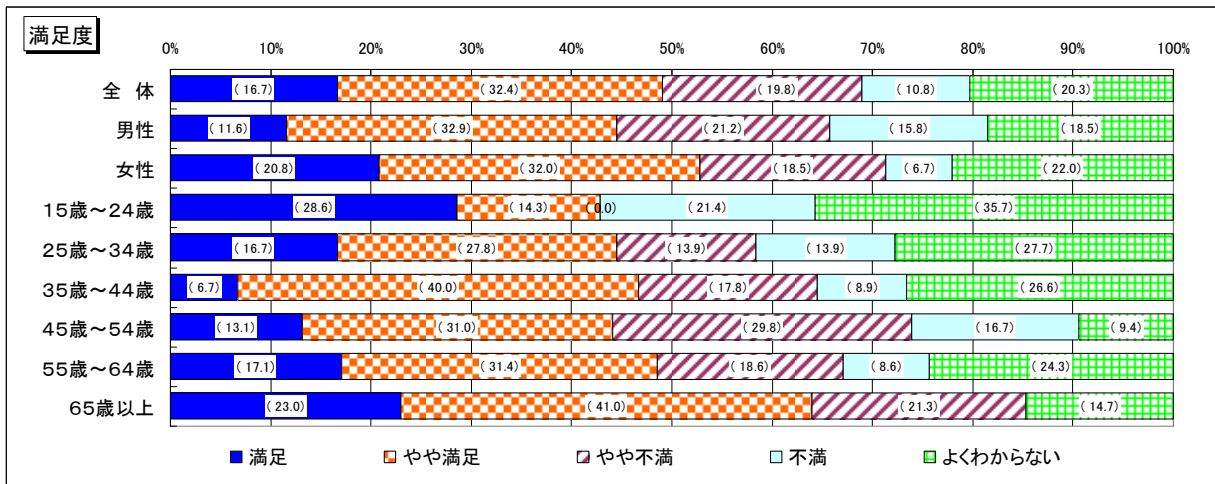
## 2.4 問4の結果(市役所からの情報提供の満足度について)

問4-1 現在の市役所からの情報提供について満足していますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで数字に○印をつけてください。

[1]満足している [2]やや満足している  
 [3]やや不満である [4]不満である  
 [5]よくわからない

問4-2 また、不満がある場合は、その理由を教えてください。次の中から、あてはまるものを3つまで選んで数字に○印をつけてください。

[1]問い合わせないとわからない [2]何を見ればよいかわからない  
 [3]広報紙だけではわかりにくい [4]整理された情報が少ない  
 [5]広報紙が手元に届くのが遅い [6]携帯電話用のホームページがわからない  
 [7]ホームページ内が検索しにくい [8]その他



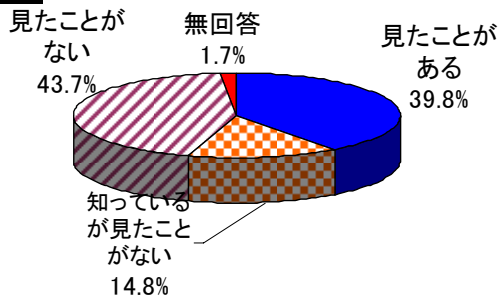
現在の市からの情報提供について、満足(16.7%) + やや満足(32.4%)を合計し、49.1%と半数の市民に満足が得られています。その反面、半数においては現行に不満を持っているといえます。主な理由は、広報紙だけではわかりにくい(28.7%)という意見がもっとも多く、また、整理された情報が少ない(17.1%)という意見もあり、多様な情報提供のあり方を考察する必要があります。

## 2.5 問5の結果(市のホームページについて)

問5-1 現在の市のホームページについて、ご覧になったことはありますか。あてはまるものを1つ選んで [ ] 内の数字に○印をつけてください。

[1] 見たことがある	[2] 知っているが見たことがない
	[3] 見たことがない
↓	↓
問5-2へ	問6へ

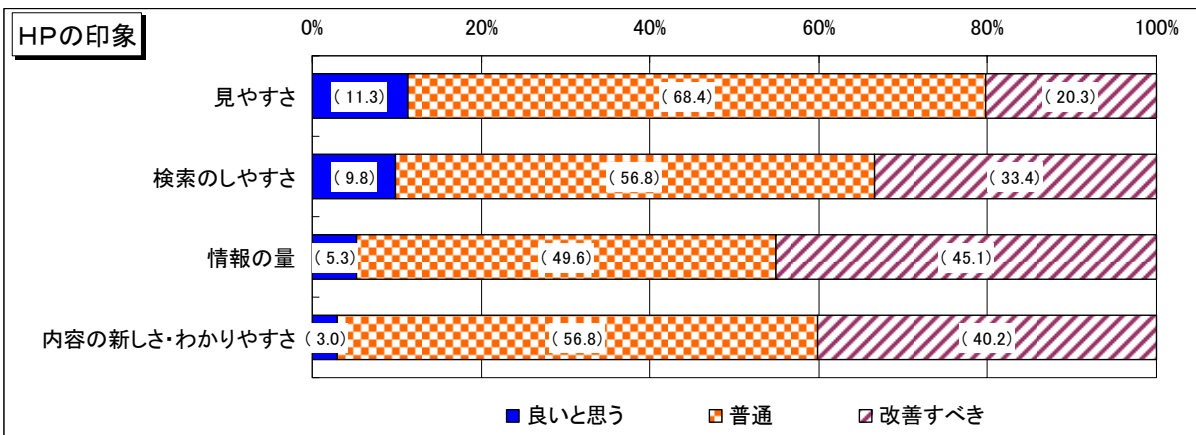
### HP閲覧の有無



現在、市のホームページについて、市民の39.8%が見たことがあり、知っているが見たことがない市民は14.8%であり、43.7%の市民において、見たことがないという状況になっています。

問5-2 見たことがある方のホームページの印象はどうでしたか？以下の設問について、あてはまるものを1つ選んで [ ] 内の数字に○印をつけてください。

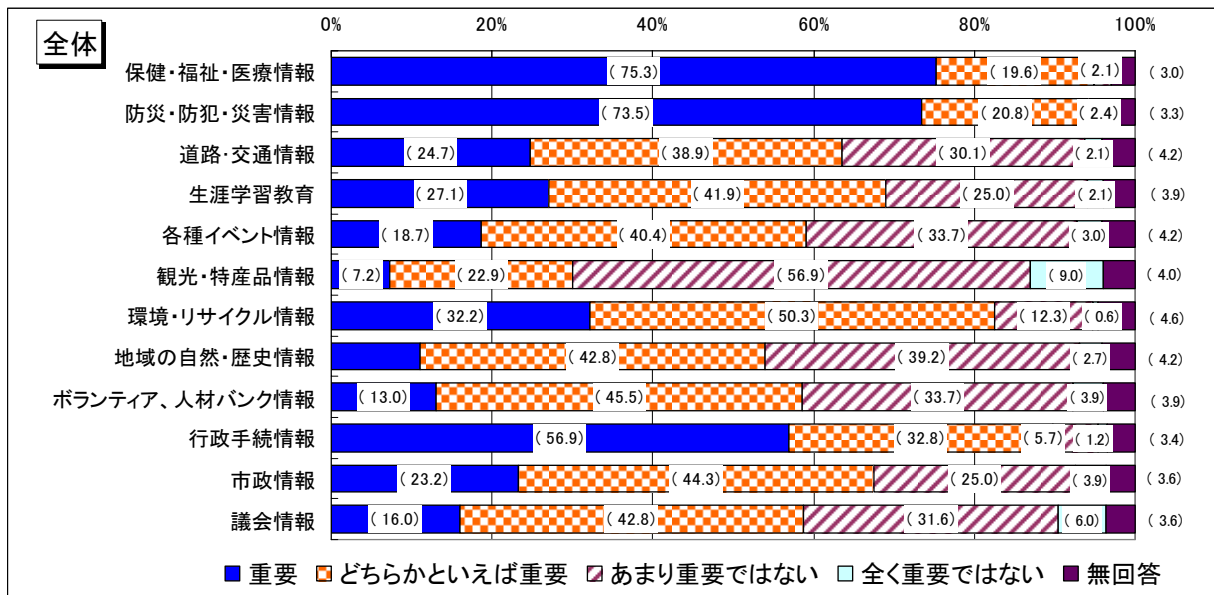
1 見やすさ	[1] 良いと思う
2 検索のしやすさ	[2] 普通
3 情報の量	[3] 改善すべき
4 内容の新しさ・わかりやすさ	



現在のホームページの印象に対する市民の意見として、約半数が普通という意見はあるものの、見やすさ(20.3%)、検索のしやすさ(33.4%)、情報の量(45.1%)、内容の新しさ・わかりやすさ(40.2%)において、改善すべきという意見が寄せられています。

## 2.6 問6の結果(市に求める情報について)

<p>問6 市役所が提供する情報のうち、あなたにとってどのような情報が重要だと思いますか。あてはまるものをそれぞれ選んで[ ]内の数字に○印をつけてください。</p>	
<p>1 保健・福祉・医療情報 (福祉制度や介護保険、健康管理、医療機関案内など)</p>	[1]重要である
<p>2 防災・防犯・災害情報 (避難場所や災害時の対応方法など)</p>	[2]どちらかといえば重要である
<p>3 道路・交通情報 (工事などによる通行止めなど)</p>	[3]あまり重要でない
<p>4 生涯学習・教育・公共施設利用情報 (生涯学習講座の案内、公民館・スポーツ施設の利用案内・予約など)</p>	[4]全く重要でない
<p>5 各種イベント・催し物情報 (イベント等の予定や報告など)</p>	
<p>6 観光・特産品情報 (観光案内や特産品など)</p>	
<p>7 環境・リサイクル情報 (ごみや環境問題など)</p>	
<p>8 地域の自然・歴史情報 (地域の自然環境や歴史など)</p>	
<p>9 ボランティア、人材バンク情報 (ボランティア活動など)</p>	
<p>10 行政手続情報 (各種手続き・申請方法の案内など)</p>	
<p>11 市政情報 (各種計画や統計資料など)</p>	
<p>12 議会情報 (市議会の開催日程や議事録など)</p>	



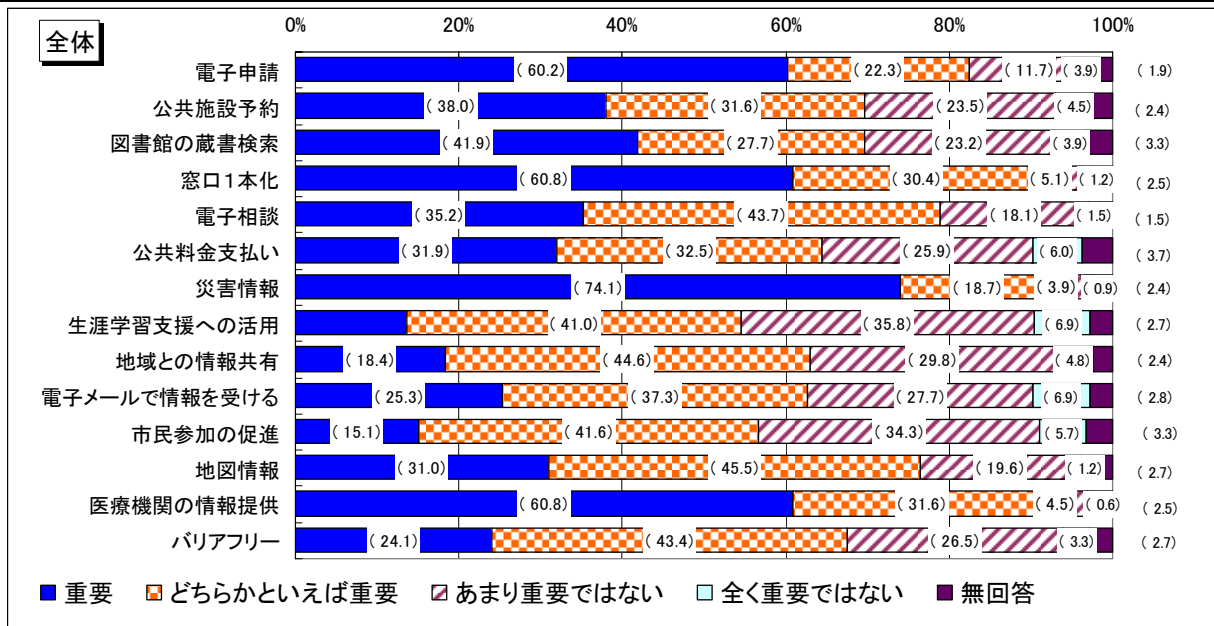
市に求める情報の優先度では、もっとも多い意見は、順に、保健・福祉・医療情報(75.3%)、防災・防犯・災害情報(73.5%)、行政手続情報(56.9%)と続いています。

ホームページ等の情報提供の充実においては、上記の順位を考慮に入れることが求められます。

## 2.7 問7の結果(重要だと思うインターネットサービスについて)

問7 行政サービス・行政情報の提供を、インターネット等のICT(情報通信技術)を利用して将来実施する場合に、あなたにとってどのようなものが重要だと思いますか。あてはまるものをそれぞれ選んで[ ]内の数字に○印をつけてください。

- |      |   |                   |
|------|---|-------------------|
| [1]  | 市役所や出張所に行かなくても、住民票の写し等の申請手続きができる(電子申請)              | [1] 重要である         |
| [2]  | 公共施設(スポーツ施設や公民館等)の案内や利用状況・予約等ができる(公共施設予約)           | [2] どちらかといえば重要である |
| [3]  | 図書館の蔵書検索や予約ができる(図書館の蔵書検索)                           | [3] あまり重要でない      |
| [4]  | 市役所へのお問合せ窓口を一本化し、時間外や休日にも対応可能とする(窓口の1本化)            | [4] 全く重要でない       |
| [5]  | 自宅等から、市役所の職員等と双方向で様々な相談(健康相談・福祉相談他)ができる(電子相談)       |                   |
| [6]  | 公共料金や税金の支払いができる(公共料金支払い)                            |                   |
| [7]  | 災害等の緊急時に、詳細な災害情報を素早く入手できる(災害情報)                     |                   |
| [8]  | 自宅等で、学習講座等が受講できるなど生涯学習の支援に活用を図る(生涯学習支援への活用)         |                   |
| [9]  | 保護者・児童・生徒を含む学校関係者と地域住民との情報共有を図る(地域との情報共有)           |                   |
| [10] | 電子メール等で、市役所からの情報を受けることができる(電子メールで情報を受ける)            |                   |
| [11] | 市民参加を促進するためにインターネットを活用する(市民参加の促進)                   |                   |
| [12] | 知りたい情報が地図上にあらわされており、視覚的に容易に把握できる(地図情報)              |                   |
| [13] | 医療機関等の情報提供を行う(医療機関の情報提供)                            |                   |
| [14] | バリアフリーに配慮し、文字の拡大や音声による読み上げ等ができるホームページの提供を行う(バリアフリー) |                   |

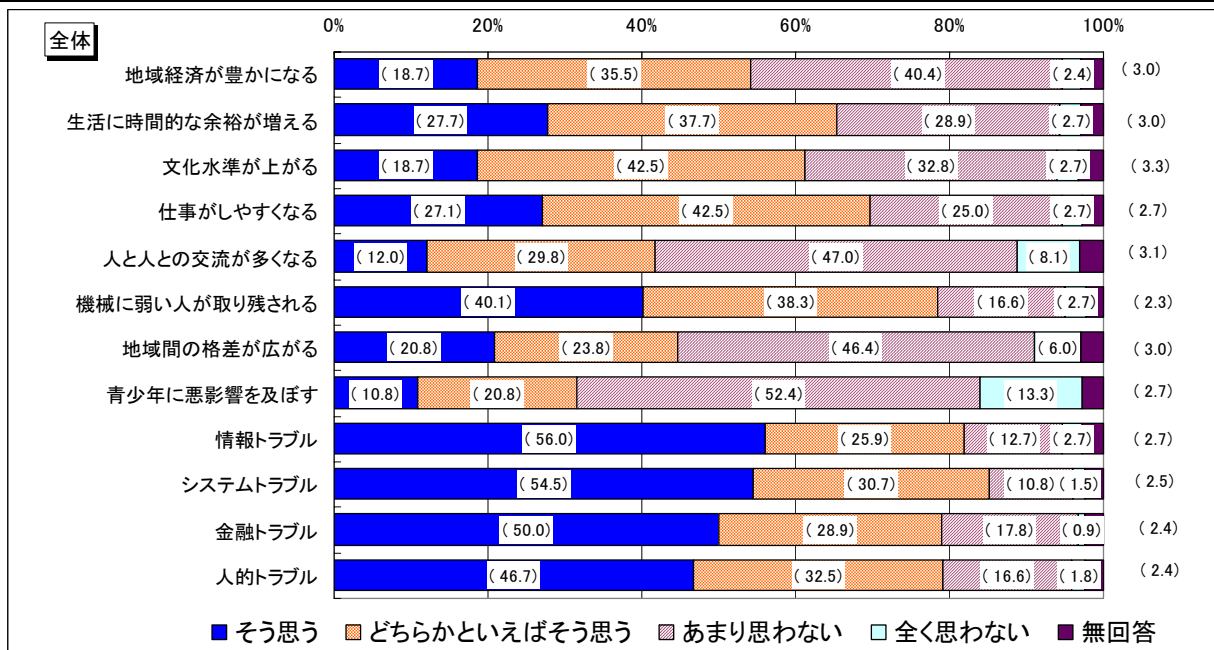


市に求める行政サービスとして、順に、災害情報の提供(74.1%)、医療機関の情報提供(60.8%)、窓口の1本化(60.8%)、電子申請(60.2%)、といった要望が出ています。

## 2.8 問8の結果(情報化が及ぼす影響について)

問8 情報化の進展は私達の生活や地域経済に大きな影響を与えようとしています。あなたは、情報化が及ぼす影響についてどのようにお考えですか。あてはまるものをそれぞれ選んで[ ]内の数字に○印をつけてください。

1	地域経済が豊かになる	[1] そう思う
2	生活に時間的な余裕が増える	[2] どちらかといえばそう思う
3	文化水準が上がる	[3] あまり思わない
4	仕事がしやすくなる	[4] 全く思わない
5	人と人との交流が多くなる	
6	機械に弱い人が取り残される	
7	地域間の格差が広がる	
8	青少年に悪影響を及ぼす	
9	情報トラブル (個人情報漏えいや盗聴など)が心配である	
10	システムトラブル (コンピュータ・ウィルス、データの改ざん、破壊行為など)が心配である	
11	金融トラブル (詐欺やクレジット関連など)が心配である	
12	人的トラブル (プライバシーの侵害、 <sup>*</sup> 誹謗中傷、恐喝など)が心配である	



情報化の進展に際し、トラブル(情報トラブル・システムトラブル・金融トラブル・人的トラブル)に対する懸念がもっとも高い関心を集めています。

また、機械に弱い人が取り残される(40.1%)という意見が多くあり、利用が進むことで、利用者と未利用者との間への格差が生じることへの懸念が表れています。



## 2.9 調査結果のまとめ

市民意識調査結果より、以下の点に整理できます。

- ・ インターネットの利用は、今後利用見込みを含めると 8 割強の進展が見込めるものの、高齢者層など、一部に今後も利用しない層があり、これらへの考慮が求められている。
- ・ 市からの情報提供の手段として、今後については、ホームページ及び電子メールによる情報提供を希望する意見が多く寄せられている。一方高齢者については、電子的な仕組みだけではなく、従来から窓口での対応を求める意見が多くある。
- ・ 市からの情報提供については、半数近くが現行に不満を持っている。特に現行の広報紙だけではわからないという意見と、整理された情報が少ないという意見が寄せられている。
- ・ 現在のホームページについては、半数以上の市民が閲覧したことが無い。また、見たことのある方の評価としては、情報の量、内容の新しさ・わかりやすさ、検索のしやすさにおいて、改善すべきという意見が寄せられている。
- ・ 市に求める情報の優先度では、順に、「保健・福祉・医療情報」、「防災・防犯・災害情報」、「行政手続情報」と続いている。
- ・ 求める行政サービスでは、順に、「災害情報の提供」、「医療機関の情報提供」、「問い合わせ窓口の 1 本化」、「電子申請」といった要望が出ている。
- ・ 情報化の進展に対し、各種トラブルを心配する意見が多くあり、また、今後、利用の有無などによる情報弱者への情報格差が発生することへ懸念が表れている。

## 3.1 添付資料

今回の市民意識調査に際し、自由記述における各種ご要望・ご意見として以下の内容が上げられています。

※以下は、市民意識調査用紙に記述されたご意見を原文の通り表記しています。

- ・ 最近の社会生活にはIT情報化が溢れでる時代となっています。日々進歩の便利性、正確性は生じるも、高齢者には対応できません。従って高齢者が理解できる情報化計画を・・・
- ・ 老人が通い易い場所で、無料（材料費は有料で可）のパソコン教室を開催して頂きたい。
- ・ 現在パソコンを始めたばかりで、よく解りませんが、情報化が進んでいくのは、世の中に添って行くことで良い事ではないかと思えます。
- ・ とにかく年配者でも簡単に理解できるように気を遣っての情報化をお願いします。
- ・ インターネットによる重要な個人情報の流出がひんぱんに発生しており、個人情報保護がむずかしい。それよりも、紙面による情報で十分である。
- ・ 優先順位はしっかり考えてほしい。
- ・ 便利とうらはらに個人情報もれて、悪用されるおそれが多分にあります。住民票などは個人のID. Noを入力しないと得られない等の工夫が大切かと思えます。我家には家族構成がどこでもれているのか、おそろしいほど他人に知られて気味悪いくらいです。年令、職業、学校名、収入までも知られているようなので、電話セールスの電話がよく鳴ります。安心して生活できる町づくりをお願いします。（役所の方からだけ、情報がもれているとは思いませんが・・・）
- ・ たまにHPが重い、ページが開けない等がある。保守、運用をちゃんとした方がよいと思う。
- ・ 年令が高くなりますと、逆に機械に弱い人が多いので、電話等を使用し解る方がよい人も多くいることを知ってほしいです。
- ・ 柏市では不審者情報などメールにて配信されると聞きました。今年いろいろな子供をまきこむ事件もあり、そういう情報もリアルタイムにわかればよいと思えます。
- ・ ホームページには情報量が少ない。他市の方が見ても分かりやすいようにするのが望ましい。子育て中で、子育て中に受けられる助成金等、細かく明記してほしい。調べたい、知りたい事が何も載ってない。
- ・ 個人情報を取り扱う上で最重要項目であることをしっかり考え、システム化していただきたい。（システム構築時の外部協力会社の取り扱い等）

- ・ 情報化時代、住民に大切な情報、又は、緊急情報が早く伝わることは必要であるが、反面、個人面で悪影響が起る場合もあり得ると思うので十分に注意したい。
- ・ 情報化の手間はマンパワーだと思う。退職者等フリーな者の人材を活用できないか。
- ・ セキュリティーレベルは最高のものでお願いします。
- ・ 北総線沿線開発情報等、成田空港までの鉄道情報
- ・ コンピュータのシステムトラブルは企業でもかなり発生し、保有する個人情報に漏えいしています。この点に曖昧でないよう、システムを組んでいただきたい。
- ・ 住民から市への要望が仕事の時間の都合でなかなかできない。提供ばかりでなく逆も考えてほしい。(西の原地区の空地横の歩道など雑草がひどく歩行が困難！草を刈って下さい)

## 参考資料-前回市民意識調査との比較-

### 市民意識調査回答者の属性

市民意識調査回答率の増減については以下の通りです。前回よりも、10.1%回答率が下落しました。

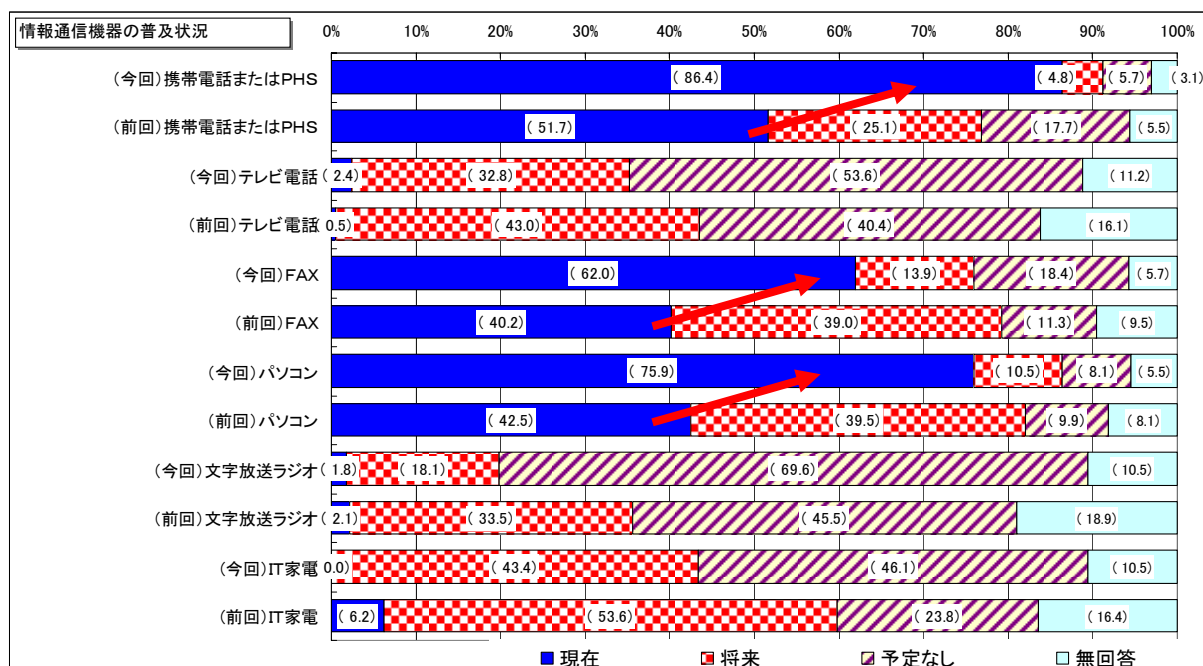
回答者	前回結果	今回結果	増減率
回収率	43.3% (433)	33.2% (332)	▲10.1%

### 参考 1) 問1に関する前回との比較

(※回答選択肢が前回と同じもののみ)

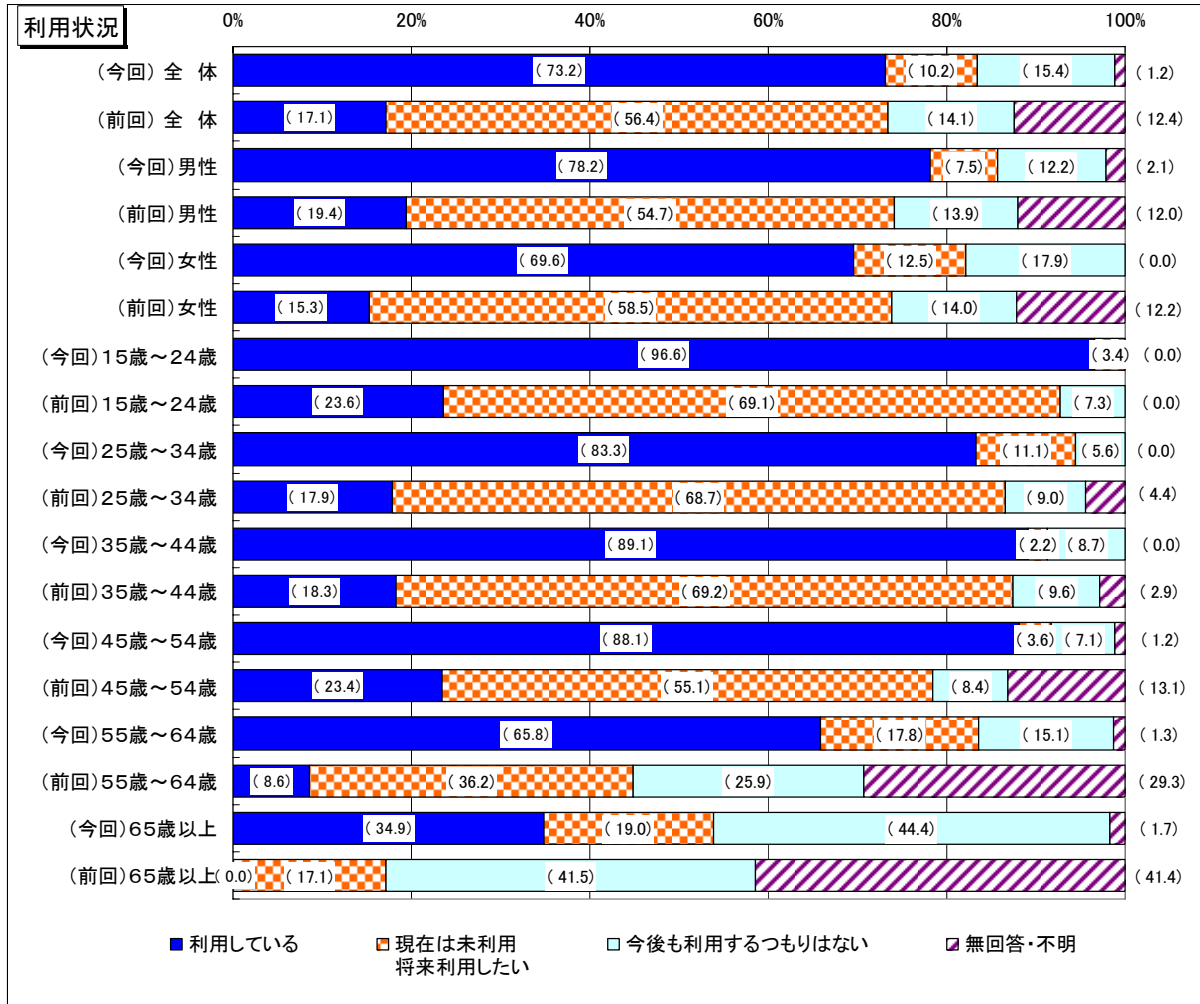
問1 あなた自身もしくはご家庭で利用している情報通信機器の普及状況に関して、それぞれの設問で、あてはまるものを選んで数字に○印をつけてください	
携帯電話または PHS	[1] 現在利用している
IP 電話	[2] 現在は利用していないが、将来利用したい
テレビ電話	[3] 将来も利用する予定はない
F A X	
パソコン	
文字放送ラジオ	
I T 家電	

ご家庭で現在利用している情報通信機器は、「携帯電話又は P H S (51.7⇒86.4%)」、「F A X (40.2⇒62.0%)」、「パソコン (42.5⇒75.9%)」において、普及が進展しています。



## 参考2) 問2に関する前回との比較

### 問2 インターネットの利用状況について

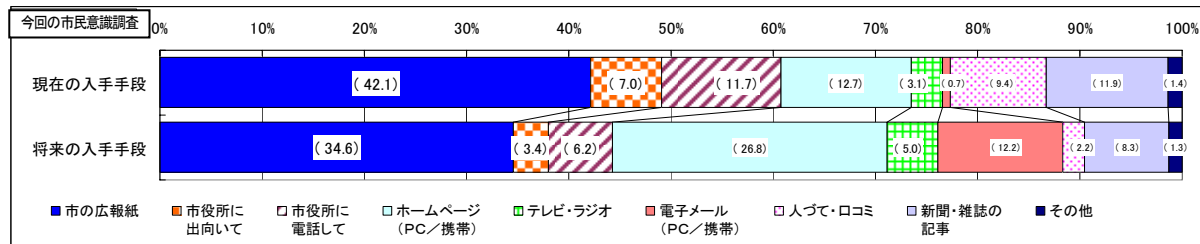
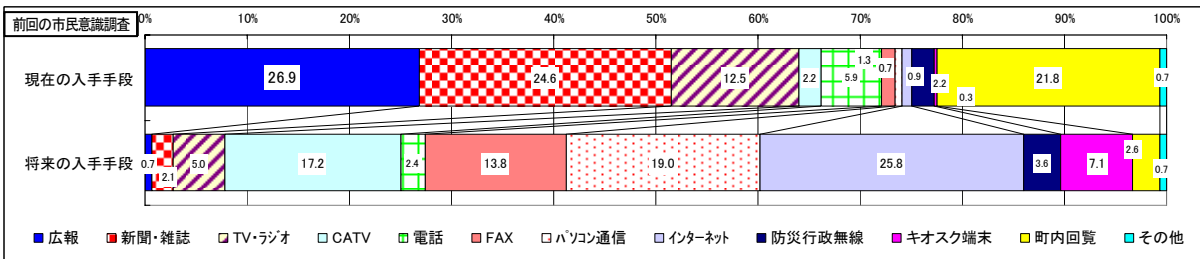


インターネットの利用の有無は、前回の市民意識調査実施と比較し現在の利用は大幅に進展しています（現在利用している 17.1⇒73.2%）。

このことは、前回の市民意識調査実施時において、「現在は未利用だが将来は利用したい」という層において、利用が普及したものと考えることができます。

### 参考3) 問3に関する前回との比較

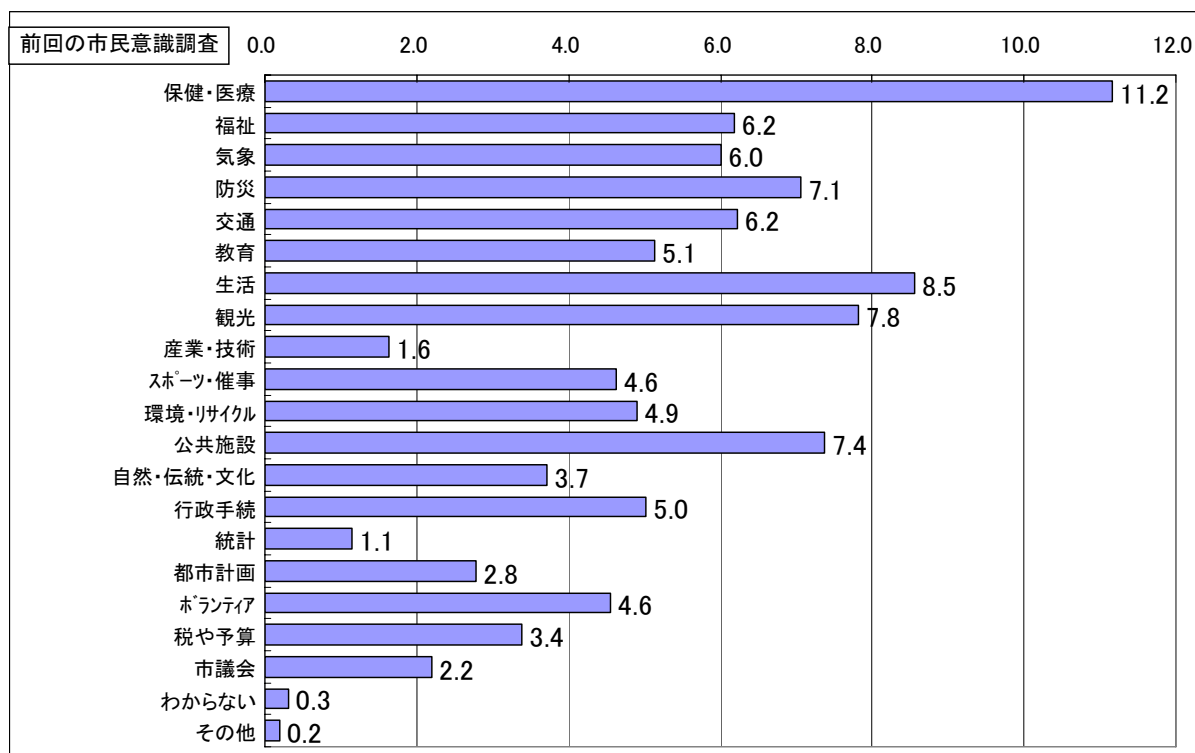
問 市役所からの情報の入手手段について	
前回の市民意識調査 (以下より現在・将来とも4つ選択)	今回の市民意識調査 (以下より現在・将来とも3つ選択)
広報いんざい 新聞・雑誌・ミニコミ紙 テレビ・ラジオ CATV 電話 FAX パソコン通信 インターネット 防災行政無線 キオスク端末 町内回覧 その他	市の広報紙 市役所に出向いて 市役所に電話して ホームページ テレビ・ラジオ 電子メール 人づて・ロコミ 新聞雑誌の記事 その他



前回の市民意識調査においても、情報の入手手段として広報誌が上位でした。また、前回の将来的な入手手段として、インターネット・パソコン通信の意見が多かったのを踏まえ、今回のアンケート結果を見ると、これら機器類の普及とあわせて、ホームページ・電子メールの利用が進展しています。

## 参考4)問6に関する前回との比較

前回問 あなたが必要とする情報は。以下より7つを選択。	
保健・医療情報	福祉情報
気象情報	防災情報
交通情報	教育情報
生活情報	観光情報
産業・技術情報	スポーツ・催事情報
環境・リサイクル情報	公共施設利用に関する情報
自然・伝統・文化情報	行政手続情報
統計情報	都市計画の情報
ボランティア、人材バンク情報	税や予算に関する情報
市議会情報	
わからない	
その他	



前回の意識調査においても、保健・医療に関する情報を望む意見が多く寄せられています。防災情報については、現在ほど情報として高い要望はありませんでした。

### 3. 市民意識調査結果【地図情報】

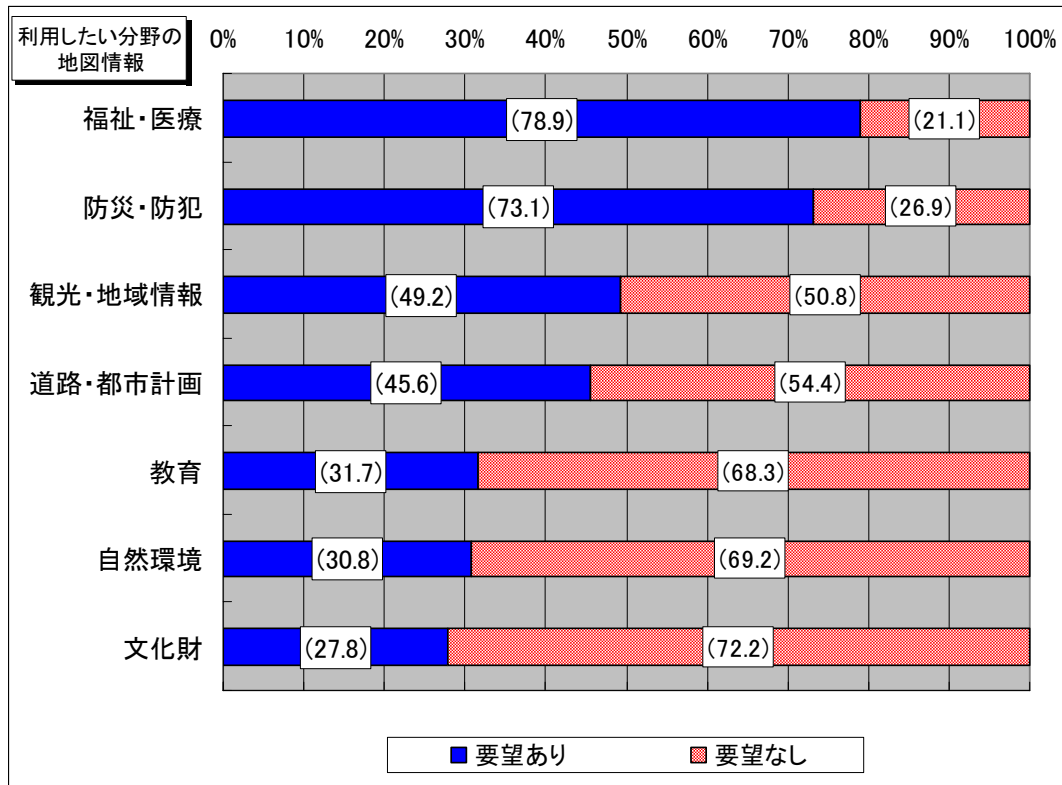
#### 3.1 問 1-1「利用したい分野の地図情報」の結果

地図情報問 1-1 利用したい分野の地図情報はどれですか？利用したい分野すべて選択

1. 自然環境
2. 福祉・医療
3. 教育
4. 防災・防犯
5. 観光・地域情報
6. 道路・都市計画
7. 文化財
8. その他（自由記入）

#### 【整備の必要性が高い地図】

下図より「福祉・医療」と「防災・防犯」分野を利用したいという要望が他分野と比べて特に高い。特に「福祉・医療」分野については回答者の約80%から利用したいという回答が得られた。





## 【その他利用の要望】

下表にその他利用したい分野として自由記入形式で挙げられた回答を示す。「防災・防犯」に関連する分野と、「市内のバス時刻表や移動手段といった「交通」に関連する分野へ利用希望が多く挙げられた。

分類	その他
防災・防犯	災害時の対応
	利根川の全長についての利用方法（市内に限らず）
	過去の災害の場所
	緊急時のアマチュア無線局の位置と各局呼び出し符号（局員、局名、住所は市が厳重に管理、保管してほしい）
交通	JR・北総鉄道・バスなどの時刻表
	木下側とニュータウン側との移動手段・経路時刻表等が分かりやすく表示されたもの
イベント	スポーツ情報 イベント情報（2件） 観光情報
高齢者・バリアフリー	市営住宅の空室情報 無料駐車場の場所 ユニバーサルトイレの情報 （自分の使う車椅子が利用可能か検索できるようなもの。） （内部のカラー写真や寸法を表示してほしい） 手話の出来る人が常にいる場所を表示してほしい （聴覚障害者のため）

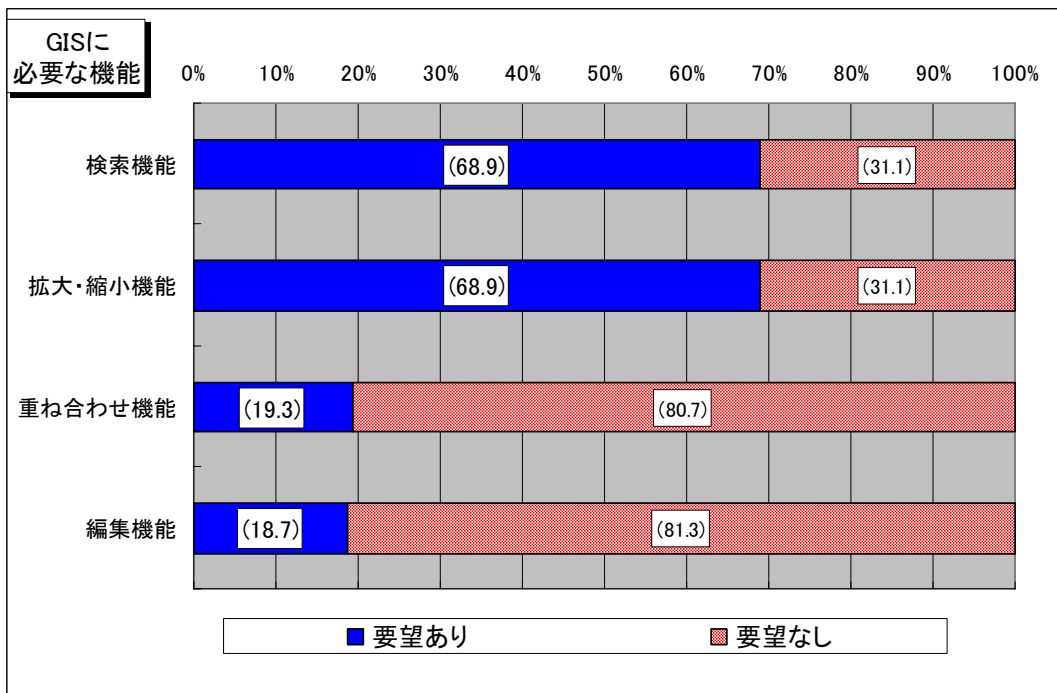
### 3.2 問 1-2「GISに必要な機能」の結果

地図情報問 1-2 市民向けに地図情報システムを公開する場合、どのような機能を利用したいですか？利用したい機能すべて選択

1. 地図閲覧の際の拡大、縮小等の簡易機能
2. 目標物等の検索機能
3. 色の入力やデータ入力などの編集機能
4. 複数地図の重ね合わせ表示機能
5. その他、必要な機能（自由記入形式）

#### 【要望の高い機能】

全体の約70%が「検索機能」と「拡大・縮小機能」をGISに対して求めており、その他の機能と比べて特に高いことが分かる。逆に、「編集機能」を求める回答は全体の19%と低く、市民はGISを情報の検索ツールとしての利用することを望んでいることが読み取れる。



## 【その他必要機能】

また、下表にはその他必要な機能として自由記入形式で挙げられた回答を示す。自由記入による回答からも 「検索」に関連する機能を求める回答が多く、自由記入で挙げられた回答の約半数を占めている。

分類	その他、必要な機能
検索機能	ルート検索機能
	乗り換え検索機能
	目標物への異動手段、時間検索
	電話番号、項目、住所カテゴリーなどから検索したい
防災	交通情報、避難情報
	地区レベルでのアマチュア無線局位置（緊急時、電話不通時のために）
	地層断層が判明すればよい。（高低差など）
表示機能	色もうの人の事を配慮した色彩
	印刷用画面
その他	地域特有の情報が載った地図

### 3.3 問2「利用したい地図情報」の結果

地図情報-問2 市役所から地図情報が提供されるとしたら、以下の地図情報の中で、どの程度利用したいと思いますか？

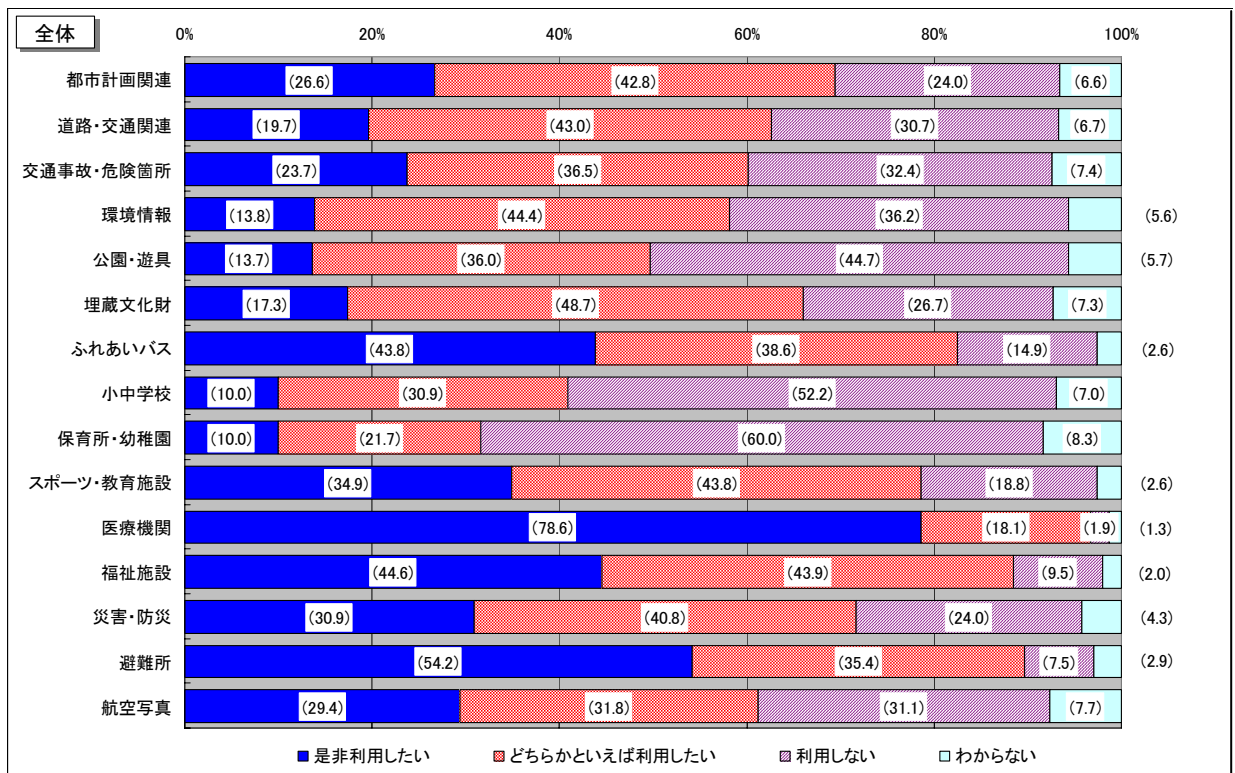
(1:是非利用したい 2:どちらかと言えば利用したい 3:利用することはない 4:分からない から選択)

- ①居住地の用途地域や道路計画など、都市計画の情報を調べることができる
- ②市内の道路工事やそれに伴う通行止めの場所が地図上に表示される
- ③過去の交通事故の発生場所等の危険箇所の内容が地図上に表示される
- ④市内の自然・環境情報（生物等）を地図上から調べることができる
- ⑤居住地の周りにある公園の場所や遊具の情報を調べることができる
- ⑥市内の観光名所や埋蔵文化財・指定文化財の位置情報を調べることができる
- ⑦市内のふれあいバスのバス停やバスルート、時刻表を調べることができる
- ⑧市内の小学校・中学校等の場所、学校区等を調べることができる
- ⑨市内の保育園・幼稚園の場所、開園時間、募集内容等を調べることができる
- ⑩市内のスポーツ施設や社会教育施設の場所、開庁時間、設備内容等を調べることができる
- ⑪市内の医療機関の場所、診療内容、診療日・診察時間等を調べることができる
- ⑫市内の福祉施設の場所等の情報を調べることができる
- ⑬過去の災害の場所やその内容が地図上に表示される
- ⑭居住地から最寄の避難所が地図上に表示される
- ⑮居住地の航空写真を見ることができる
- ⑯その他、市民の皆様が期待する利用例（自由記入形式）

## 【利用要望の高い地図】

「医療機関」について 全回答者の 74% (243 人) が「是非利用したい」と回答し、「避難所」については 全回答者の 50% (167 人) が「是非利用したい」と回答している。

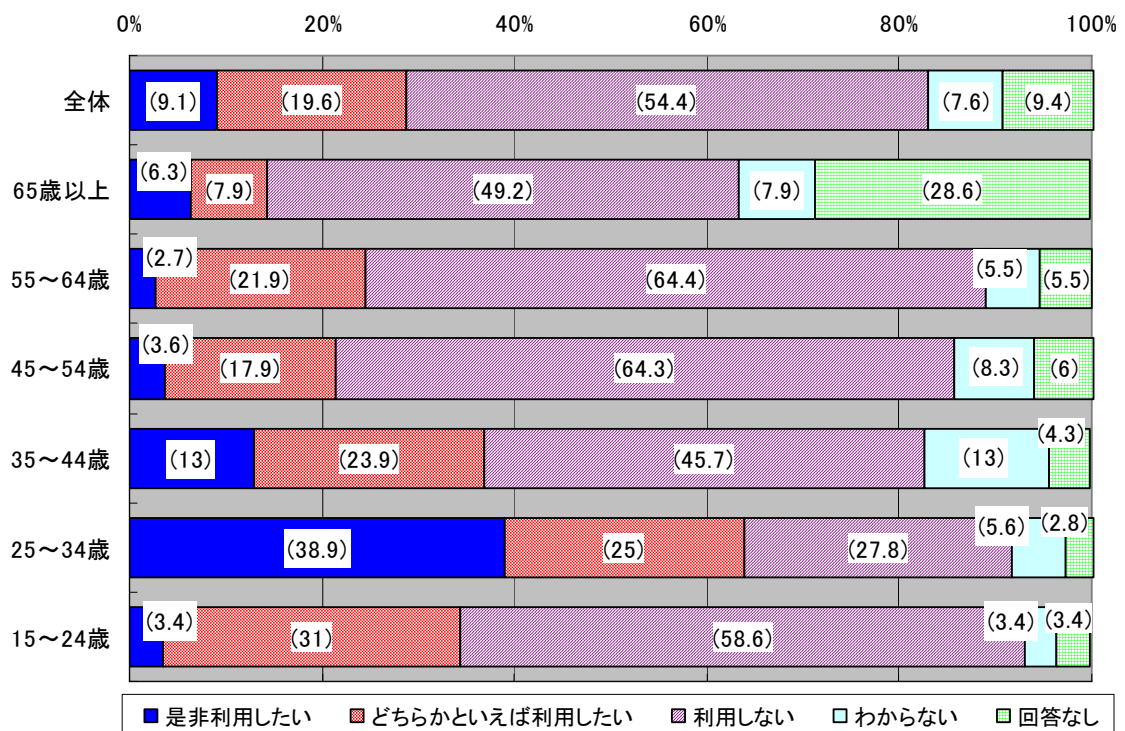
また、「是非利用したい」と「どちらかといえば利用したい」のそれぞれを合計したものについては、「都市計画」「ふれあいバス」「スポーツ・教育施設」「福祉施設」について 全回答の 2/3 (66.6%) 以上、「道路・交通」「環境」「埋蔵文化財」「航空写真」が 全回答の過半数 をそれぞれ占めている。



## 【一部の住民から利用要望が高い地図・年齢別】

全体集計の中では「幼稚園・保育園」について「是非利用したい」と回答したのは9%（30人）であり、この地図情報についての要望は他と比較して高くないと思われる。しかし、世代別で見ると、「25-34歳」世代において「是非利用したい」と回答したのは 38%（14人、36人中） であり、他の世代と比べて高くなっており、小さい子供を持つ世代で強く要望されている地図情報である。

### 保育園・幼稚園



## 【その他利用したい地図情報】

下表にはその他利用したい地図情報として自由記入形式で挙げられた回答を示す。「防犯」、「安全マップ」「帰宅支援マップ」など「**防災・安全**」に関連する回答が多くみられる。問 2-設問 13 において「過去の災害の内容や場所についての調べることができる」という項目があるが、ここで要望された防災・安全情報は、とくに**生活に密着した情報**が挙げられており、問 2-設問 13 の内容と重複するものではない。

分類	その他必要機能
防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関情報（総合病院・夜間救急病院）</li> <li>・独居老人の安否確認システム</li> <li>・帰宅支援マップ（災害時に徒歩で帰宅するため。 詳細な到着時間：大人の場合〇〇分，子供の場合〇〇分）</li> <li>・交通渋滞事故・火災の情報&lt;リアルタイムで&gt;</li> <li>・災害時の避難方法（地区別避難ルート/手段）</li> <li>・安全マップ 犯罪情報（空き巣，事故，おどし） 過去の犯罪地域</li> <li>・子供の居場所（パスワードでプライバシー保護）</li> </ul>
店舗情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のショップ情報（店名・営業時間・定休日が分かるように）</li> <li>・市民の手で店舗情報を GIS へ集積したい</li> </ul>
イベント・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り情報（開催日・場所・内容）</li> <li>・特産物を自家販売している農家、店の案内（なし、いちご、木下せんべい、だんご、うまいものめぐり、すいか、メロンなど）</li> <li>・地図からイベント情報へのリンク機能</li> <li>・地元を楽しめるような情報サービス（散歩ルート・子供の遊び場）</li> </ul>
表示機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図上の目標物を分かりやすく表示してほしい（配色・点滅・キャラクター表示など）</li> </ul>
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の案内（新しい道路・補修された道路） ・鎌谷、柏、成田、千葉、船橋への道路案内も ・幅、すれ違い困難、一方通行、行き止まり、急カーブ</li> <li>・鉄道・バス案内 ・鉄道時刻表、運賃</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風の予想進路や風向き 地図上で矢印表示できないか</li> <li>・花粉の飛散度</li> <li>・黄砂の量も表示してほしい</li> <li>・地図を眺める</li> <li>・航空写真を公開すると盗難などに悪用されないか心配。</li> </ul>

### 3.4 問3「最後に(自由記入形式)」の結果

問3 地図情報-最後に (自由記入形式)

市民の皆様には地図情報を公開していくにあたり、皆様のご意見をお書きください。

下表に自由記入形式による回答を示す。ここでは、「防災・防犯」「交通」といった問1-1, 1-2, 問2の自由記入欄で挙げられた内容と類似した回答内容もあるが、**個人情報の流出に対する懸念**や**高齢者に対する配慮**を求める要望が挙げられている。また「防災・防犯」に関する意見では、**学校関連の地図情報が悪用される**ことを心配する意見も挙げられている。

分類	その他
情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の流出に注意して欲しい。(名前などは非公開にしてほしい)。</li> <li>・特に公的な面の情報は慎重にと願います。</li> <li>・個人の自宅まで分かる地図は不要</li> <li>・プライバシーについて充分、検討を重ねて欲しい。</li> <li>・個人情報の取扱いには注意してほしい。</li> <li>・個人情報の公開は犯罪へつながる可能性がある</li> <li>・公開範囲を限定し、個人情報の管理は市が責任をもって厳重に管理してほしい。</li> <li>・公開された情報を、悪用されないか心配。</li> <li>・犯罪にまきこまれそうで不安。</li> </ul>
高齢者・バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく、解りやすいものにしてほしい。</li> <li>・誰もが身近に地図情報を利用できるように。</li> <li>・高齢者に理解しやすく(文字、イラスト等大きく作成してほしい)</li> <li>・目標物をはっきりと。</li> <li>・新住民や高齢者にもわかりやすく。</li> <li>・お年寄から子供まで分りやすく。</li> <li>・利用したいと思うような地図情報を作ってほしい。</li> <li>・高齢者向け情報は複雑なシステムより広報紙等に記載してほしい。</li> <li>・機械は分かりにくい。</li> <li>・老人にもわかりやすく。</li> </ul>
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯情報・安全マップ(危険路線・道路照明の有無・治安パトロールの時間・最寄の警察・交番の警察官の配置人数防犯計画)</li> <li>・過去の犯罪の発生場所不審者情報(特に木刈、小倉台付近)</li> <li>・どのような事件があったのか明確に記してほしい。</li> <li>・安全マップに対する懸念(幼稚園や学校情報を悪用されそう)</li> <li>・災害時の避難に使える地図情報(担架が使用できる住宅かどうか。独老人や障害者の世帯の位置)</li> </ul>
道路・交通	ふれあいバスの路線情報
データ検索/更新	計画道路の地図 バス路線の表示/時刻表検索 最新の地図データが表示されるようにして欲しい。 都市計画、計画道路の変更を地図に反映して欲しい。 新施設の計画
イベント・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のイベント・店舗・地域情報を表示してほしい。(友人、知人等とのコミュニケーションが広がるから)</li> <li>・提案、意見、要望を書き込み・書き込みに対する回答があればよい。</li> <li>・市民の要望を取り入れられる機会を設けてGISへ反映して欲しい(意見を反映して使いやすいシステムへ変更をしてもらえるとよい)</li> </ul>



### 3.5 集計結果のまとめ

市民意識調査（地図情報）集計結果を元に、「市民向け GIS」のコンテンツとして公開すべき地図情報および具備すべき GIS 機能について、以下に列記する。

#### 【公開の必要性が特に高い地図情報】

◆ 医療機関情報

根拠：問 1-1 おいて要望人数が 1 位である。

問 2 の回答において要望人数が 1 位である。

→問 1 の 1 で回答者の 261 人約 80%から利用したいという回答

→問 2 ですべての回答者の 243 人（74%）が「是非利用したい」と回答

◆ 防災・防犯

◆ 避難所

根拠：問 1 の 1 で「防災・防犯」に対する要望人数が 2 位である。

問 2 で「避難所」に対する要望人数が 2 位である。

→問 1 の 1 で回答者の 242 人（73%）が利用したいと回答

→問 2 で回答者の 167 人（50%）が「是非利用したい」と回答

自由記入欄の要望事項に、必ず災害時対応・避難・帰宅支援に関するキーワードが記入されている。

#### 【公開が望まれている地図情報】

◆ 福祉施設

◆ ふれあいバス

◆ 都市計画関連

根拠：問 2 において「是非利用したい」

「どちらかといえば利用したい」

の回答合計が全回答の 2/3 を超えている。

◆ 道路・交通

◆ 交通事故・危険箇所

◆ 航空写真

◆ 環境情報

根拠：問 2 において「是非利用したい」

「どちらかといえば利用したい」

の回答合計が全回答の半数を超えている。

## 【公開の必要性が認められる地図情報】

### ◆ 幼稚園・保育園

根拠：是非利用したいと回答した割合が「25-34歳」世代では全体平均とくらべて突出して高く、特定の条件下にある住民から高い要望があると推測される。

→ 「25-34歳」世代 38%（14人，36人中）  
全体では 9%（30人 331人中）

## 【市民向け GIS として具備すべき機能】

市民意識調査（地図情報）の問1-2の回答結果より、市民向け GIS として「地図情報の閲覧・検索に特化」し、「機能構成がシンプル」であるシステムが求められている。画面構成に関しては、高齢者および視覚障害者等に十分に配慮したデザインとする必要がある。

「複数地図の重ね合わせ」および「データ編集」については、機能が比較的高度であり、ユーザの操作ステップ数も他の機能と比較して多くなる傾向があることから、市民向けの機能としては具備する必要性は低いと判断できる。ただし、GIS に対して住民の行政参加（要望、意見交換、提案等）ツールとして期待する意見もあるため、当面は閲覧・検索が主目的であるシステムとして運用を開始し、利用状況を見ながら「データ登録」に関する機能の強化を検討する必要がある。

## 【システム運用上特に注意を要する事項】

### ◆ 情報の公開範囲と個人情報の管理

根拠：最後の自由記入欄で個人情報漏洩と公開された情報の悪用を心配する意見が多数ある。（例えば：学校や子供に関する情報，詳細な航空写真の公開，個人名の公開など）

住民向け GIS のコンテンツとして地図情報を公開するにあたっては、当該地図データが「個人情報に相当するものか否か」「悪用される可能性と、悪用による危険の及ぶ範囲」などについて、システムの運用開始までに十分な調査・検討を行う必要がある。

以上